

## 学会ニュース ②

2019年8月発行

### 2019年度 総会・研究大会が開催されました！

5月19日に北星学園大学で今年度の総会・研究大会が開催されました。研究大会では、2題の研究報告、そして安井友康先生（北海道教育大学）による基調講演「障がい者のスポーツ参加と地域福祉」がありました。



参加者が少なかったのが非常に残念でしたが、2つの研究報告があったこと、そして安井先生に示唆に富むお話をいただき、今後の研究に刺激をいただきました。

#### 米田政葉さん（北海道医療大学 博士課程）

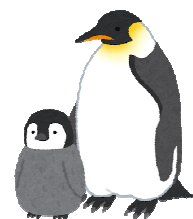
2019年3月10日に開催された関東地域ブロック研究大会に参加したので下記に報告する。自由研究報告は主に高齢者分野に関する発表が中心となる分科会に参加した。特に、経営学的視点からの報告は大変興味深いものであった。また、中国における高齢者福祉の現状について報告したものでは、高齢女性の社会的な支援や地域のつながりの薄さを感じさせる内容であった。ワークショップについては、今後の自身の研究やその先について考えさせられるものであり、有意義であった。基調講演では、SDGsを中心とした話題であり、幅広く福祉を考えるうえで持続可能性の視点が必要となるとの示唆を得た。シンポジウムは日本の社会福祉学教育のあり方について非常に意義深い知見を得ることができた。研究大会終了後の情報交換会においては、多くの参加者の皆様と交流することができ、ICT時代における若者支援の方向性について大変興味深い示唆を得た。

#### 米田龍大さん（北海道医療大学 博士課程）

日本社会福祉学会北海道ブロック若手研究会からの助成を頂き、2019年3月10日に駒沢大学駒沢キャンパスで開催された2018年度関東地域ブロック研究大会（「テーマ：持続可能な社会を支える“脚力ある人材”の育成」）に参加し、研究報告を行いました。

研究報告では「高等教育機関に所属する学生のレジリエンスとその関連要因・生活習慣と家族関係に焦点を当てて」と題し報告を行い、関東ブロックに所属する会員の皆様から沢山のご示唆を頂きました。また、他の研究報告から様々な刺激を受け、より一層、研究に邁進しようと思いを新たにすることができました。

基調講演、ワークショップ、シンポジウムでは、分野横断的な最新の知見を得ることができ、研鑽を積む貴重な機会となりました。さらに懇親会では、関東ブロック会員の皆様にご挨拶することができ、研究のみならず様々な意見交換を行うことができました。



### 今冬 旭川 で、 不安定化する「家族」をテーマに シンポジウムを企画しています！！

今年度より、北海道ブロック（北海道社会福祉学会）として新たに、札幌以外のエリアで学会フォーラムやシンポジウムを企画するということが総会で提案・可決されました。

現在、理事会・研究活動委員会で検討している所ですが、メインテーマは“不安定化する「家族」”社会福祉研究者や第一線で活躍するソーシャルワーカーの方々にご登壇いただき、参加者とともに議論を深めていければと考えています。

詳細は決まり次第メール等でご案内させていただきますが、会員皆様のご参加をお待ちしております！

日本社会福祉学会北海道地域ブロックでは、道内院生・若手研究者の研究交流の場を広げることを目的に、他ブロックとの研究交流を推進しています（旅費助成あり）。

昨年度3月の関東地域ブロック研究大会に参加し、研究発表を通して交流を図った2名より、参加報告を受けましたのでご紹介します。